



はやね はやおき 朝ごはん テレビをとめて外遊び

平成28年度

別海町立野付小学校

学校だより No.9

平成28年10月31日

発行責任者

<みんなのめあて>～がんばる・考える・思いやる～ 校長 山本 尋子

## 人が一番嬉しいことは？

10月16日の学芸会には、たくさんの保護者・地域の方のご来校をいただきありがとうございます。温かな声援と大きな拍手が子ども達の背中を押し、いつも以上の姿を見せてくれたようです。

各学級のお便りを読むと、子ども達の振り返りに、自分が頑張ったこと、楽しかったこと、劇を通して学んだことなどがいっぱい載っていて、学芸会という行事で子ども達がまた一回り成長したことを感じました。

その中にこんな感想がありました。「おかあさんに カッコいいところを みてもらえた」子どもらしい素直な喜びが読み取れます。一生懸命練習し、頑張った学芸会、子ども達はきっとお父さん、お母さん、お家の方に頑張ったね、とても良かったよと、褒めてもらったり、喜んでもらうことが一番嬉しいことなのだと思います。



喜んでくれた！  
嬉しい！  
次も頑張ろう！

一生懸命頑張って  
喜んでもらいたい  
褒めてもらいたい

よく頑張ったね  
良かったよ  
カッコよくて嬉しかったよ

自己肯定感を育む  
認められる喜び



「人が一番うれしいのは、人をよろこばせることだということがわかりました。実に単純なことです。人は人をよろこばせることが一番うれしい。」(やなせ たかし)

漫画家のやなせたかしさんの言葉です。アンパンマンの作者といった方がピンとくるでしょう。

子ども達も、この言葉の通りです。大好きなお父さん、お母さんが喜んでくれることが一番うれしいのです。一生懸命頑張った学芸会、自分自身の努力、友達との協力、子ども達が得たものは、たくさんありますが、その中で一番大きいものは、自分の頑張りを喜んでもらったという達成感だと思います。子ども達の「喜ばせたい」という思いは、毎日の生活の中にも一杯ちりばめられています。それに気づき、伝えること、それが子ども達の心の成長を後押しします。どうぞ、子ども達が頑張っていることに気づいたら、しっかりと笑顔と言葉で伝え、褒めてあげてください。子ども達の心がグーンと伸びていくことでしょう。

校長 山本 尋子

## 共同募金運動70年記念 会長特別表彰 優秀学校 受賞



先日、別海町社会福祉大会で、上記の表彰を受けました。児童会長の武田 彩菜さんが児童会を代表して賞状を受け取りました。毎年、児童の皆さんの温かい気持ちを届ける活動が認められての表彰だと思います。ご家庭のご協力があったことです。感謝の気持ちとともにご報告致します。